

## 指定管理者評価シート

### 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市大野田老人福祉センター
2	指定管理者	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会
3	指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》</p> <p>平成29年度：37,374人（前年度比 101.9%）          平成28年度：36,695人（前年度比 104.1%）          平成27年度：35,253人（前年比 98.6%）</p> <p>《事業》          公認会計士・税理士、行政書士による無料相談、地域包括支援センター相談（月1回）、趣味の教室（11教室）、愛好会（24団体）、認知症についての教室、認知症カフェ、介護予防に関する教室、専門職による認知症についての講話（音楽療法士、理学療法士、言語聴覚士）、パワーリハビリ教室、パソコン教室、タブレット体験、レクリエーション教室、うた声喫茶、抹茶体験、ピラティス、大野田シニアボランティアグループ（23名）によるボランティア活動（認知症カフェ、近隣公園の清掃活動、近隣施設における活動、世代間交流等）、認知症サポーター養成講座の実施（2回）、近隣小学校の総合学習受け入れ、近隣中学校（2校）の職場体験受け入れ、福祉授産施設による販売会（3団体）</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p style="text-align: right;">（ ）は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理者に支払った費用 29,691千円 （29,706千円）</li> <li>・ その他市が負担した費用 90千円 （ 0千円）</li> </ul> <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用料収入 千円 （ 千円）</li> <li>・ その他収入 千円 （ 千円）</li> </ul>
6	利用者の声	<p>《実施状況》</p> <p>独自アンケート（1回）、仙台市アンケート（1回）、窓口センターへの要望箱設置、管理運営委員会（2回）、地域委員会（2回）、第三者委員による苦情解決窓口の設置（2回）</p>

### 二 管理運営に係る評価

（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	老人福祉センターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康づくりや、公平・公正な利用、高齢者の特性を理解したうえでの心身への配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	S
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、各職員は他の職員の業務状況を把握している。経理処理も書類作成など適正に行われている。 また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定めるとともに職員への周知等、意識啓発も行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 併設の児童館やコミュニティ・センターとの合同防災訓練の実施や、事故や災害の発生に備え、連絡体制や職員の役割分担を予め決めていくなど、対応体制を構築している。	S
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、建物等の保守点検や施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	S
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な対応と分かりやすい説明を心がけている。 また、毎月のセンターだより発行など、利用者への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。 さらに、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、市が実施する利用者アンケートの他にも独自アンケートを実施してニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に意欲的に取り組んでいる。	S
V 施設固有の基準	高齢者が自ら学んだことを発表する機会の設定を積極的に行なっており、利用者の主体的な企画実施に対する支援も行っている。 また、利用者の代表者や地域で構成する委員会を立ち上げ、利用者が施設運営に関わる仕組みづくりに努め、利用者の意見を取り入れた企画の立案を行っている。	S

### 三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

### 四 評価総括

《指定管理者（仙台市大野田老人福祉センター）による自己評価》
<p>センターの運営にあたっては、公の施設である老人福祉センターに共通する管理運営方針に加え、本会の活動基本理念である「一人ひとりの市民が、その人らしく地域で安心していきいきと暮らせる福祉のまちづくり」の考えに沿いながら事業を実施した。</p> <p>当センターとしては、今年度は特に重点事業の一つでもある「認知症予防教室」及び「認知症カフェ」、「介護予防教室」、トレーニングマシンを使用している「いきいき教室」を重点に運営を図り、毎月定期的な開催の回数を増すごとに従来からの受講者はもとより、新規受講者の増加にもつながり、定着してきていることから、高齢者の方々の健康増進に対する意識の高揚が図られてきたと考える。</p> <p>昨年度より「大野田シニアボランティアグループ」を立ち上げ、活動内容として、近隣地域での清掃活動、世代間交流、近隣施設や地域交流、施設内の認知症カフェなど、各種行事への参加を含めボランティア活動を行っている。更に、定期的にボランティア同士の情報交流会等を設け、意見や情報共有を図りながら、グループのボランティア意欲の向上とボランティア間の繋がりを大切にしていきたいと考える。</p> <p>地域交流等については、昨年度に引き続き地域の方々との関係向上に努め、今年度は更に町内会エリアを増やし、地域との関係性を築いてきた。地域の町内会や各種施設、学校等の会議や行事等にも積極的に参加する機会を増やし、小中学校の学習の一環として生徒の受け入れなど、連携を深めてきたところである。</p> <p>今後、後期高齢者の増に伴い、更なる認知症高齢者等の増加が見込まれることから、当センターとしても更なる高齢者の健康増進に努め、高齢者の地域での生活を支えるためにも、関係機関等と連携を図りながら地域包括ケアシステムの構築に寄与できるよう努めていきたいと考える。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>平成29年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>前年度に引き続き認知症や介護予防に関する事業に力を入れており、各種講座を工夫を凝らして実施し、新規受講者の獲得に繋げている。</p> <p>また、シニアボランティア活動は着実な成果を挙げており、他館の参考となるもので、積極的な取組みといえ、評価できる。</p> <p>加えて、中学校の職場体験や小学校の総合学習をセンターで受け入れるなど、地域交流、世代間交流の取り組みを進めている。</p> <p>施設運営にあたっては、市のアンケートのほかに独自アンケートを実施するなど利用者の意見を運営に反映する取り組みも実施しており、総合的に高く評価できる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局保険高齢部高齢企画課